

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 4 日 (2012.10.4)

【公開番号】特開 2011-251985 (P2011-251985A)

【公開日】平成 23 年 12 月 15 日 (2011.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2011-050

【出願番号】特願 2011-157930 (P2011-157930)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 9/48

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 9/20

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 13 日 (2012.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物を含んだ医薬組成物の製造方法であって、

(a) 60 μ m 未満の平均粒径を有する結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の第 1 のバッチを 60 から 5 % と、100 から 250 μ m の平均粒径を有する結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の第 2 のバッチを 40 から 95 % とを混和する工程と、

(b) 前記混和された結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の一部をカプセル化することで、前記医薬組成物を作製する工程とを含むことを特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記工程 (a) が、

60 μ m 未満の平均粒径を有する結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の第 1 のバッチを 40 から 20 % と、130 から 180 μ m の平均粒径を有する結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の第 2 のバッチを 60 から 80 % とを混和する工程を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記工程 (a) が、

25 から 45 μ m の平均粒径を有する結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の第 1 のバッチを 30 % と、130 から 180 μ

mの平均粒径を有する結晶スベロイルアニリドヒドロキサム酸又はこの医薬的に許容される塩もしくは水和物の第2のバッチを70%とを混和する工程を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。